

西日本随一の農業県

全国5位の農業所得

熊本県の農業は、全国で第5位（昭和55年）の生産農業所得をあげています。とくに主要農産物の生産では、全国で10位に入るものが13品目に及ぶなど、西日本随一の農業県となっており、日本の食料供給基地として、確固たる地位を占めています。

農業就業人口は依然として減少を続けており、昭和55年の国勢調査によると、農業従事者数は、5年前と比べて2万6千人減少し、約18万人となりました。しかし、中核農家は48,300戸と全国第4位の戸数を誇っています。

作物別に生産額をみると、熊本県の農業は、従来の米中心から草地改良の推進、食生活の変化などに応じて、畜産が第1位を占めるようになるとともに、野菜、果実のウエイトが高くなるなど、農業生産活動の多様化が進んでいます。

このように、全国の食料供給基地として発展を続ける熊本県農業は、基盤整備をはじめとしてさまざまな対応

全国から見た熊本県農業の地位(昭和55年)

区 分	単 位	全 国	九 州	熊 本 県	全国から見た			
					順 位	割 合		
耕 地 面 積	千 ha	5,461.0	721.9	149.5	(11)	10	2.7	
農 業 従 事 者 数	千 人	3,182	590	135	(6)	6	4.2	
農 家 戸 数	千 戸	4,661.4	745.8	124.5	(14)	13	2.7	
中 核 農 家 戸 数	千 戸	1,032.7	194.9	48.3	(-)	4	4.7	
農 業 粗 生 産 額	億 円	102,293	16,901	3,413	(5)	7	3.3	
生 産 農 業 所 得	億 円	45,647	7,216	1,629	(7)	5	3.6	
主 要 農 産 物 の 生 産 額 (調 査 頭 数)	水 稲	千 トン	9,692.0	1,217.0	264.5	(13)	11	2.7
	温 州 み かん	千 トン	2,892.0	1,191.0	233.7	(6)	6	8.1
	甘 夏 み かん	千 トン	296.4	183.3	96.5	(1)	1	32.6
	く り	千 トン	47.0	8.0	4.3	(3)	3	9.1
	す い か	千 トン	976.0	209.0	127.6	(2)	1	13.1
	露 地 メ ー ロ ン	千 トン	263.9	84.5	56.0	(2)	1	21.2
	と ま と	千 トン	1,014.0	87.0	35.0	(8)	8	3.5
	い ら ぶ ち	千 トン	94.4	80.1	63.2	(1)	1	66.9
	た ば こ	千 トン	141.4	38.0	10.0	(4)	4	7.1
	荒 茶	千 トン	99.8	25.0	2.5	(7)	7	2.5
	収 割 量	千 トン	73.1	5.9	1.5	(10)	10	2.1
	乳 用 牛	千 頭	2,104.0	191.0	56.9	(8)	8	2.7
	肉 用 牛	千 頭	2,281.0	767.0	123.1	(4)	4	5.4
豚	千 頭	10,065.0	2,178.0	304.8	(8)	9	3.0	
農 家 1 戸 当 り 農 業 所 得	千 円	952	901	1,434	(6)	2	対全国平均 150.6	
農 外 所 得	千 円	3,563	2,723	2,336	(45)	43	対全国平均 65.6	
農 家 所 得	千 円	4,515	3,624	3,770	(42)	38	対全国平均 83.5	

注) 順位の()は昭和54年である。

をはかる関係者の努力により支えられてきました。今後は、農産物貿易の自由化など、農業を取りまく情勢はますます厳しさを強めるものと思われます。そこで、これらの情勢に対処し、安定した農業経営を確立するため、引き続き基盤整備などの諸施策を積極的に進めるとともに、わが国の長期的な食料政策のうえに立った農業政策に取り組むこととしています。

成果を上げる林業基盤づくり

全国10位の素材生産量

熊本県は森林面積が約46万haと県土面積の62%を占め、林業生産に適した地質、温暖多雨の気象条件にも恵まれており、これまでの積極的な造林の推進により、民有林、人工林面積は昭和55年現在約27.3万ha、人工林率59.9%で全国水準を大きく上回っています（全国平均の人工林率38.8%）。

このように林業県としての基盤づくりは着実に成果を上げてきており素材生産では、昭和54年で83.8万m³と、全都道府県中10位の生産量をあげ、全国でも有数の林業県となっています。しかし、近年、外材や代替材との競合による需要の伸びなやみ、経営規模の零細さ、林業従事者の減少などから、経営環境は厳しさを増しています。

また、森林は、経済的機能のほか、県土の保全、水資

全国から見た熊本県林業の地位(昭和55年)

指 標	単 位	熊 本 県	全 国	順 位
林 野 面 積	ha	464,116	25,197,571	18
林 野 率	%	62.6	67.6	31
人 工 林 面 積	ha	273,004	9,583,879	11
人 工 林 率	%	59.9	38.8	5
林 道 密 度	m/ha	[2.5]	[3.3]	—
素 材 生 産 量	千 m ³	838	34,051	10
しいたけ生産量(乾)	t	861	13,579	4
生 産 林 業 所 得	百万円	35,935	1,158,217	11

注) 順位の()は昭和54年である。

源のかん養などの公益的機能を持っています。今後とも、このような森林のもつ多面的な機能を高度に発揮できるように造林、保育などの適切な施策による森林の整備とともに、林業生産の基盤整備、経営体制の強化並びに林産物の流通、加工対策の強化など林業の安定的発展をはかるための施策を進めることとしています。



高冷地野菜の収穫



阿蘇の林業